

試合における先読み行動についての研究
 ～手記分析を通じて～

礒谷 佑哉 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)
 指導教官 豊田 則成

キーワード：先読み行動，指導者，戦略，勝ちへのこだわり

1. 緒言

本研究では、『優れた指導者は、勝ちへのこだわりをどう語るのか』というリサーチ・クエスチョン (Research Question:以下 RQ) を設定し、質的にアプローチし、指導者の先読み行動の重要性について、発展継承可能な仮説的知見を導き出すことを目的とした。

2. 方法

本研究は、「先読み行動」に関連する著書 11冊を研究対象にし、質的研究法の代表的手法であるグラウンデッド・セオリー・アプローチ(Grounded Theory Approach:以下 GTA)を用いて手記分析を行った。

3. 結果と考察

本研究では、上記の RQ の下、質的にア

プローチした結果、「試合前であるが故に、見えないものを見ようと試みることに始まり、勝つための戦略を見出し、導き出した戦略について分析することを通して、新たな戦略を生み、勝ちへのこだわりが深まる。このようなプロセスを循環するものとして語る」という仮説的知見を導き出した。(Fig.1 参照)

4. まとめ

優れた指導者は試合前であるが故に、見えないものを見ようと試みることで、あらゆる観点から戦略を分析し、勝つための戦略が生まれ、勝ちへのこだわりが深まる。すなわち、勝ちへのこだわりが深まることで、「先読み行動」を行い、勝つための戦略を導き出していることが明らかになった。

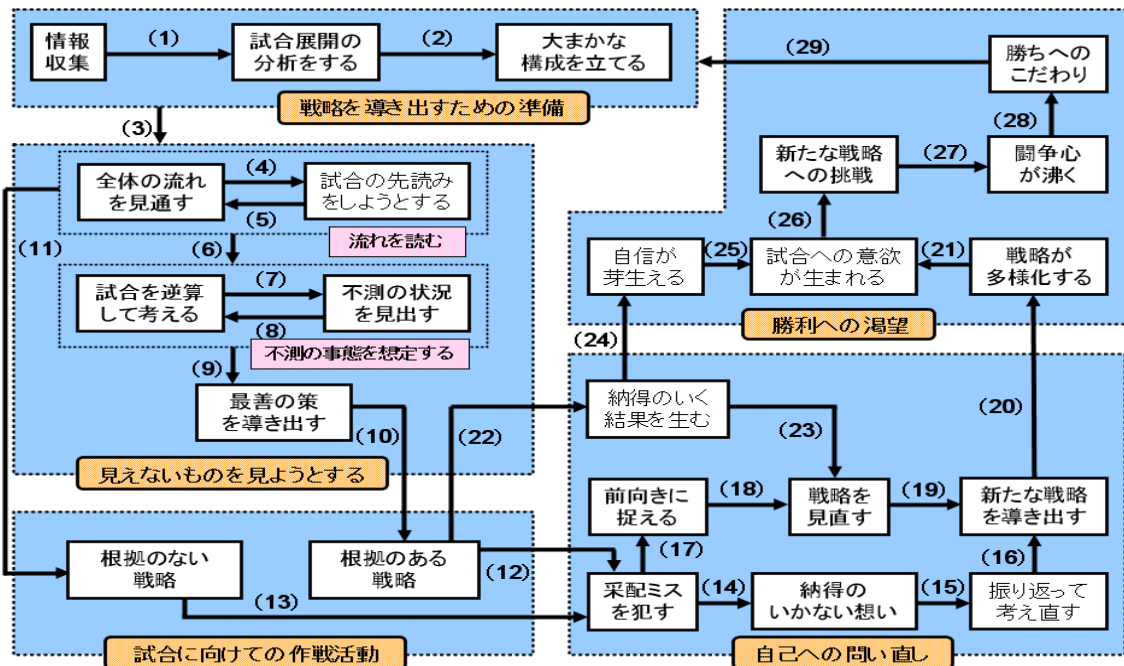


Fig. 1: 勝ちへのこだわりが深まる先読みサイクル